

作業名	サクランボの選果	作業期間	5月の下旬から6月上旬
圃場位置	南アルプス市	作業環境	○トイレ：作業場 ○休憩場所：作業場
利用者の声	○初日はどんなことをするのか、またできるのか、とても不安でした。作業を始めると、できることが分かり作業が楽しくなりました。		
農業者の声	○近隣の農家も必要としているので紹介したい。また、柿の収穫期になるまでに作業内容を検討しておきたい。		
作業・支援内容			
①		○コンテナから果実を出し、選果機の上のスペースに置く（果実の下に敷いてあるふるしきごと）。機械の稼動については支援員が実施した。	
②		○果実の軸を持って1粒つまみ、割れているかどうか確認し、割れていないものは選果機のくぼみに置く。慣れるまで、選果機のペースではなく、自分のペースでくぼみに置くように説明した。	
③		○機械が故障した場合はスケールを使用して選果をする。サクランボは完全な球体でないので、2から3回程度おき直す必要がある。	
④		○はっきり割れているものや軸がないものは廃棄パックに入れる判断は簡単にできるが、変色や果肉がやわらかいものなどは判断に迷うが、パック詰め段階で最終的な選果をするので、迷った場合は「自分が食べたくないものは廃棄する。」を判断基準にするとよいと農業者の助言があった。	